

豊明市児童館運営委員会議事録（要旨）

日時 平成 27 年 6 月 23 日（火）
午前 10 時 00 分～11 時 00 分
場所 会議室 6

1 あいさつ

原田部長遅れて参加のため、後ほど挨拶の予定。

2 委嘱状交付

委員(9名)に委嘱状交付。

3 委員長選出

委員長に早川孝明氏を、委員長の職務代理に原田一也氏を選出。

委員長あいさつ

先日刈谷市の逢妻川で高校生が殺害される事件があった。いろいろなことがとても近い場所で起こっているが、小学校・中学校・高校、ひいては児童館等さまざまな連携ということをよく言われている。先日大宮小学校と大宮児童館との連絡会を行ったが、情報交換ができ、学校運営に活かせる非常によい会であった。今後子ども達が健全に生活できるように連携をとっていきたい。また、今日はそのためにも意義のある会にしたいと思う。

(各委員、事務局職員の自己紹介)

4 議 題

(1) 平成 26 年度児童館活動報告

(2) 平成 27 年度児童館活動計画

亀井児童館長から資料に基づき説明があった。

5 議題（1）（2）について主な質疑応答及び要望事項

- ・豊明市の児童クラブは3年生までの受け入れ体制。他市町では4年生以上の受け入れも行っている。平成27年に定員枠を増やしたのは、1年生～3年生までの申し込みが増えると予測したからなのか。今後4年生以上の受け入れを視野に入れてなのか。→国のほうからは4年生以上も受け入れるようにと言っているが、豊明市は各児童クラブ1年生～3年生までで定員を超えてしまっている。また、1年生～3年生は待機無しということで、随時受け入れしている。4年生以上を

受け入れると、希望した1年生が入会できない状況に陥るため、4年生以上の児童に関しては、ランチタイム開放で対応している。また、4年生以上の子は部活のある子も多く、下校時間が遅いと児童クラブを利用しなくても済むこともある。

- ・4年生以上で入会を希望していたのに、断ったケースはあったか？
→現在は施設の厳しく断った件もあるが、今後は教育委員会と様々な受け入れ体制について、協議していきたい。
- ・ジュニアボランティアが非常によい。西部児童館の太鼓クラブなど、なかなか経験できないことを通して子ども達の健全育成のため今後も行っていって欲しい。
- ・前回のJV会には初代JV会に所属していた方も参加してくれた。

6 議題（3）平成28年度指定管理者制度導入について

高木児童福祉課長から資料に基づき説明があった。

7 議題（3）について主な質疑応答及び要望事項

- ・27年4月から開始した、中央・北部児童館の指定管理についての感じはどうか。
→切り替わった当初なので戸惑いもあり、保護者からの意見も多少あったが、今のところ順調である。アンケートをとった結果は、若干不満のある方もいたが、8割強の方は現状でよい、または満足されているという結果だった。まずまずの滑り出しだと思う。今後指定管理者に係る審査委員会等を通してその辺りのモニタリングも含めて行っていきたい。
- ・どんなことで不満がでたのか→些細なことだが、挨拶がなかったとか、事務室から出てきてくれなかったりとかである。
- ・指定管理者制度と委託事業の違いを教えて欲しい。→指定管理者制度はその館に権限を与える。そこで利用許可などが出せる。委託は事業についての委託であり、責任は発注者側にある。全く市側に責任がなくなるわけではないが、指定管理者制度は指定管理者にある程度の責任が発生する。
- ・指定管理者制度に出す館は一括で1社にするのか、複数社にするのか。
→どちらも可能性がある

- ・ 5 館指定管理になった場合の余剰人員が出るが、うまく回るのか？
→ 業者が継続雇用する場合もあるし、公立児童館・保育園に戻ってもらう場合もある。
保育園の保育士不足の一助になる。

8 指定管理者制度導入に対し賛成多数

9 指定管理者審査委員会の委員について

1 1 部長挨拶

1 2 出席委員 6 人（欠席者 3 人）

1 3 傍聴者 なし

問合わせ先 豊明市役所児童福祉課 児童係 電話 9 2－1 1 2 0